

# 就労困難者の雇用と地域づくりを考える

## 生活困窮者、障がい者、若者、母子世帯等… 社会参加をどう進めるのか？

地方の創生が叫ばれる今、地域の課題を解決するために起業する「社会的企業」が注目されています。

各地の視察から見えてきた持続可能な仕事づくりのポイントとは何か？ 西宮での実践モデルも交えて探ります。

今こそ誰もが必要とされる働き方の実現から住民参加による地域づくりへ！



**参加無料**

2015年3月21日(土) 14:00~16:30  
新潟日報メディアシップ6F ナレッジルームA・B

### 視察報告×パネルディスカッション

- I ネクストグリーン但馬(兵庫県)×ワーカーズコープ
  - ・地域の再資源化による森の百業への挑戦
  - ・就労困難者の就労参加の場づくりと課題
- II エル・チャレンジ(大阪府)×ささえあい生協新潟
  - ・優先発注制度の活用と雇用の場づくり
  - ・障がい者の社会参加の場づくりと課題

### ゲストコメンテーター

西宮障害者雇用支援センター協会

理事長 寺下篤史氏 就労支援部部长 次田尚哉氏

・アドバンスの事業スキームと優先調達推進法からみる公共の役割

### コーディネーター

敬和学園大学 専任講師 川本健太郎氏

主催/お問い合わせ先

## にいがた協同ネット

〒950-0965 新潟市中央区新光町6-2 勤労福祉会館4階  
Tel 025-384-8222 fax 025-384-8224



▶ メディアシップへのアクセス

# 報告先プロフィール

## 企業組合 労協センター事業団 Next Green 但馬 (兵庫県豊岡市)

「里山資本主義」との出会いから、担い手不足などで利用されなくなった森林を舞台に「自伐型林業」の事業体を職業訓練の受講生たちが中心に立ち上げる。

木材に加えて養蜂や広葉樹の精油など「森の百業」をスローガンに掲げて森の6次産業化に挑戦している。現在、木質バイオマスによる地域づくりを目指して、宿泊施設や公共施設での薪ボイラーの導入や木の駅プロジェクトなど販路の確保と地域づくりを進めている。



## 大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合 エル・チャレンジ (大阪府)



「障がいがあるから働けない」への挑戦を目指して、清掃事業における就労訓練から雇用確保、職場定着までの就労支援システムの確立に取り組み、これまで600人以上の就職を実現している。

また大阪府の「行政の福祉化」による行政の既存資源を福祉活用しようとする実践や「総合評価一般競争入札制度」を導入させ、障がい者雇用の飛躍的な前進につなげている。

## 西宮障害者雇用支援センター協会 アドバンス西宮 (兵庫県西宮市)

障がいを持った方々が河川敷や公園、公共施設等の環境維持管理業務を通じて「自分らしく働きたい」を実現し、労働者として経済的にも自立していく事を目的として長く活動を行っている。

全国的に課題となっている、作業所で働く人たちの平均工賃の低さを受けて、それぞれに見合った形の支援付きで働く「中間的就労」の取り組みを進めながら、多くの障がい者が働ける環境を整えている。



### 3月21日(土)公開研究会 参加申込書

FAXでの申込 025-384-8224

メールでの申込 hkrkb@roukyou.gr.jp

ご氏名	ご所属	ご連絡先